

事務事業名	小水力発電所調査研究事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2095										
			所属課室	地球温暖化対策室	課長名	依田昭造										
			所属担当	自然エネルギー推進担当	担当者名	保坂正彦										
基本政策	基本計画体系	19	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政策		32	自然環境の保全と活用	01	一般	0	4	0	1	0	5	0	9	0	0	7
施策			自然と共生する地域づくり	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)		法令根拠													
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 経済産業省の外郭団体である(財)新エネルギー財団が、平成21年度に市内で行った小水力発電の適地を確認する「水力開発促進調査」の結果を受け、小水力発電所建設に向けた調査事業。取水及び排水地点、導水管の経路・位置等の現地調査と、流量確認などを委託した。小水力発電などの新エネルギーの導入促進は、総合計画後期基本計画において「自然と共生する地域づくり」の施策のなかで、本市の特性(豊富な水資源)を最大限活用した重点プロジェクトに位置づけている。			事業費の主な内訳 (22年度)												
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)									
				消耗品費	34											
			委託料	1,523												
							計				1,557					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	23年度活動予定	対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	上位目的(どのような結果に結び付けるのか)
活動	壇尻川の小水力発電所建設適地の調査業務の委託	事業終了	発電可能な河川、農業用水路	適地に発電所を建設し電力供給する公共施設の電力使用量を削減する。	電力供給を予定する公共施設のCO2排出量の削減

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 協議打合せ回数	回
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 調査箇所	箇所
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 削減率	%
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 削減率	%
イ:	
ウ:	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		1,557						
		事業費計(A)	千円	0	1,557	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		2						
		延べ業務時間	時間		160						
		人件費計(B)	千円	0	714	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	2,271	0	0	0	0	0	0
	活動指標	ア: 回数			10.0						
	対象指標	ア: 箇所			1.0						
	成果指標	ア: %									
	上位成果指標	ア: %									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年2月に策定した南アルプス市地域新エネルギービジョンに基づき計画され、本市の豊かな水資源を活用した温暖化対策として平成22年度の単年度事業として行われた。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	異常気象や温暖化などにより環境保全に関する市民の関心は高まっている。また、東日本大震災により節電意識の高揚が見られるなか、太陽光や小水力など、新エネルギーの開発、利用の推進が求められている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	調査事業で単年度であるため特に寄せられていない。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている。【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない。【理由】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	単年度事業のためこれまでの取組みはない。
H 22年度に実施した改革改善の内容	なし。

事務事業名	小水力発電所調査研究事業	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 水力発電所による新エネルギーの開発は施策の方針に結びついている。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 温暖化対策の推進と、公共施設管理経費の削減を目指すもので、市が実施することは妥当である。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 【理由】 事業の目的や必要性は温暖化対策にかなっている。また、単年度事業である。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 調査委託事業であり、単年度の業務である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 22年度のみ単年度事業である。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 事業費は委託料と若干の消耗品費のみであり削減の余地はない。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 最低限の業務時間で行っており削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 市の温暖化対策に資する事業であり公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	単年度事業として調査を行ったが基礎資料が得られたので、今後、発電所建設に向けての具体的な作業に取り組んでいく予定である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性、の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性、の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																			
	低下	<input type="checkbox"/>																				
(2) 改革改善案について 単年度事業で22年度で終了となる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					